

令和 6 年 度

家庭教育だより

義務教育学校（後期）版

八千代市では、子供の発達段階に応じた保護者向けの家庭教育講演会を実施するなど、家庭教育の推進に取り組んでいます。



令和 6 年 4 月

発行 八千代市教育委員会生涯学習振興課



ご入学・ご進級おめでとうございます！

新しい一年が始まりましたが、お子さんの様子はいかがですか。環境が変わって緊張と期待が入り混じり、生活のペースが落ち着いてくるまでにはまだ時間がかかるかもしれません。お子さんの体調や表情などの変化に気をつけてあげましょう。

思春期になると、自分の身体の急激な変化や成長に戸惑いや不安を感じたり、周囲と比べたりして必要以上に気にすることも出てきます。身体の変化は大人への発達の一つであることを伝え、気になることがあれば話を聞いてあげましょう。また、身体を清潔に保ったり生活リズムを整えてしっかりと睡眠時間を取ったりすることの大切さを伝えることが必要です。

多感な年ごろに入っているこの時期は、不安なことを感じると、自分だけがうまくいっていないのではないかと感じてしまうことがあります。自分に自信がなくなり、楽しいはずの学校生活が楽しくなくなったり、一番理解あるはずの家族の一言がいつになく癪にさわったりと、成長期にありがちな様子が見られることも少なくありません。そんな時は、お子さんの気持ちをしっかりと聴いて理解し、大人として責任を持たせながら自信をつけていってあげましょう。大人への階段を手探りで迷いながら少しずつ上っていくお子さんの成長を、ゆとりをもって見守りましょう。

ためしてみませんか

日常生活の中にある小さな幸せ（ミラクルポイント：MP）をためよう

ここにゆとりをもつためには「いい気持ち（小さな幸せ）」に目を向けることがとても大切です。日頃から M（Mastery：できたこと）P（Pleasure：うれしいこと）等の小さな幸せを見つけることを意識し、こころの中にためておくようにすると、いやな気持ちになった時、こころの中の MP（ミラクルポイント）が、いやな気持ちでいっぱいになるのを防いでくれます。 —令和 5 年度第 2 回家庭教育講演会より—



家庭教育は、すべての教育の出発点

八千代市教育委員会生涯学習振興課では、小・中学生の子育て（家庭教育）のサポートや応援をするために情報を定期的に発信しています。

家庭教育だより 年度当初

小中義務教育学校に学校を通して配付
ホームページ内に掲載

家庭教育通信 年 3 回

ホームページ内で発行



家庭教育講演会（子育ての専門家による講演）

年 2 回 セントラルスポーツ生涯学習プラザで開催予定 申込制 各所にポスター掲示や該当学年へのチラシ配付 広報やちよ掲載 ホームページ内に掲載

家庭教育講座（親子一緒に体験型講座）

年 1 回 セントラルスポーツ生涯学習プラザで開催予定 申込制 各所にポスター掲示や該当学年へのチラシ配付 広報やちよ掲載 ホームページ内に掲載

新情報は、やちよ情報メールでその都度

お知らせいたします。
どうぞご活用ください。



「家庭教育」とは…親またはそれに準ずる人が、子供に対して家庭で行う教育のこと

親（保護者）は、人生最初の教師として、豊かな情操や基本的な生活習慣、家族や他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観や社会的マナー、自制心、自立心などを養う上で、重要な役割を担っています。



基本的な生活習慣を定着させる・規範意識の大切さを話す

部活動や勉強などで時間的に忙しくなり生活のリズムが崩れがちになりますが、子供が朝食を摂ったり睡眠時間を確保したりできるよう、サポートしましょう。

子供が自ら考え正しい判断ができるよう、今のうちに、礼儀や社会のルール、善悪の判断などを身につけさせましょう。

SNSでのトラブルに巻き込まれないように情報モラルを話し合い、家族でルールを決めて実行させていきましょう。スマホは保護者が契約しています。子供がスマホで被害にあわないためにも誰かを傷つけないためにも正しい使い方を教えるのは、保護者の責任です。



子供が伝えたい思いを聴く・思いやりのある言葉遣いを意識させる

保護者への依存度が減少し自分自身の判断で行動しようとすることを押さえられると反抗的な態度にでることがあります。これは自我が芽生えてきて自立が始まった証拠です。保護者は毅然とした態度をとりながらも一方的な言葉の投げかけではなく、話し合う機会を持ち、子供の話をよく聴くことが大切です。子供の考えを尊重し、お互い優しい言葉（プラスの言葉）を使って話し合ったり必要に応じて助言するなど子供とのコミュニケーションを深め、子供が困った時に相談できる家族の関係づくりに努めましょう。



子供の適性を理解し、主体的に進路を選択できるように話し合う

この時期の子供たちは、自分を冷静に見つめ自分探しをはじめます。子供自身が気づいていない長所や“あなたのこんなところが好き”を伝えてみましょう。自分のことを温かいまなざしで見えてくれる存在は、子供にとってとても嬉しく心強い応援団となります。

進路選択については、まず子供の気持ちをよく聴いて、子供の適性を理解しながら話し合いましょう。先入観を持たず、他の子供との比較にとらわれないようにすることが大切です。

「一人でなやまず、SOS」カード

つらい時には、ひとりで我慢しないで、“SOS”を出し、話を聞いてもらうなどして、自分をいたわりましょう。学校から全家庭に配付されているこのカード（名刺サイズ、両面刷り・カラー）には、親子共に使用できる電話相談案内が記載されています。ご活用ください。

家庭教育について

八千代市教育委員会生涯学習振興課の取り組みは、右の二次元コードでご覧いただくか



八千代市ホームページ
> 組織でさがす
> 教育委員会
> 生涯学習振興課



八千代市「やっち」

からご覧いただけます。

